

経営比較分析表（令和3年度決算）

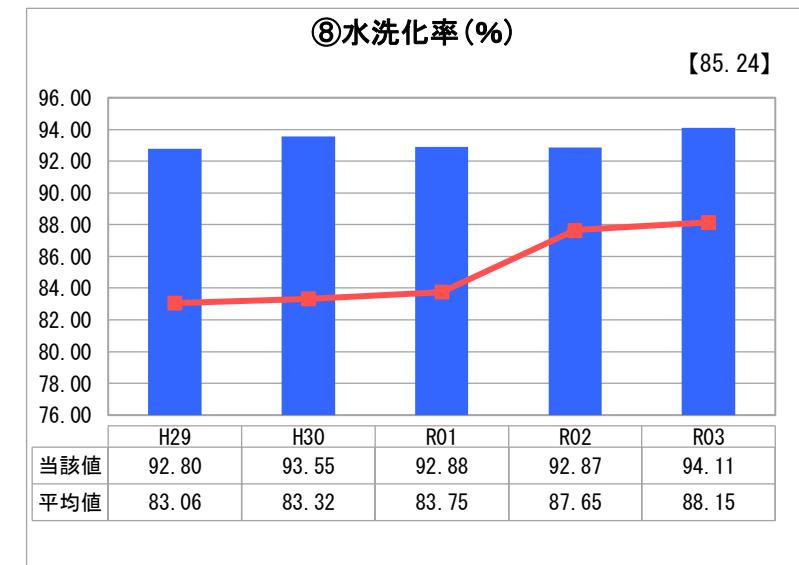
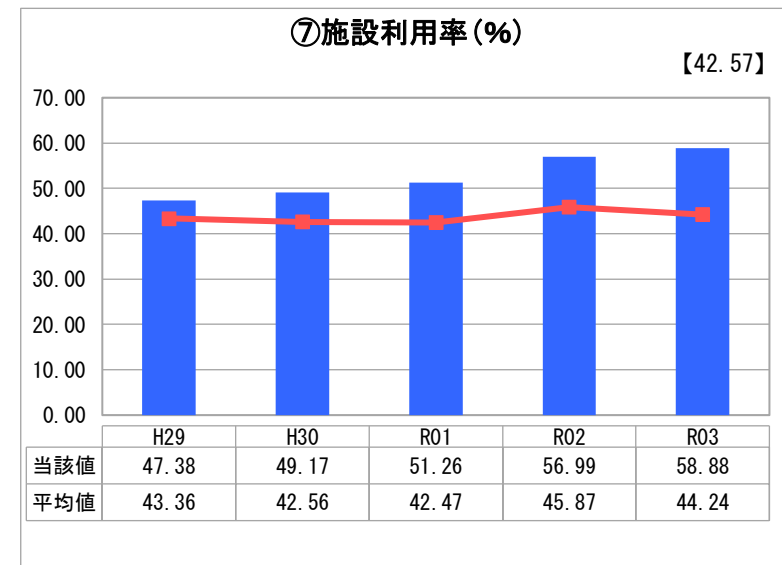
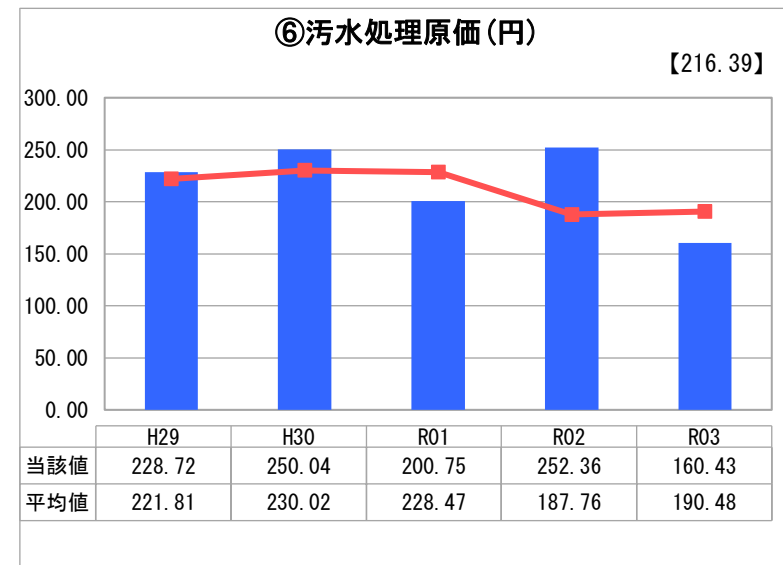
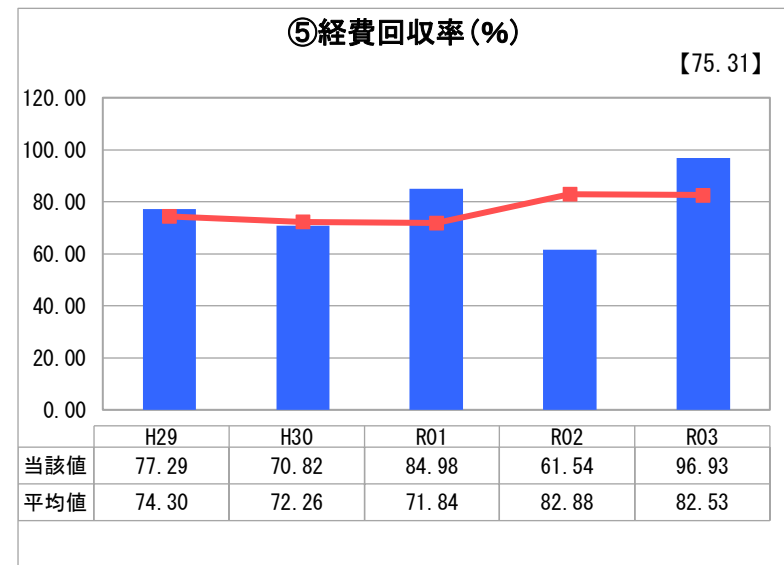
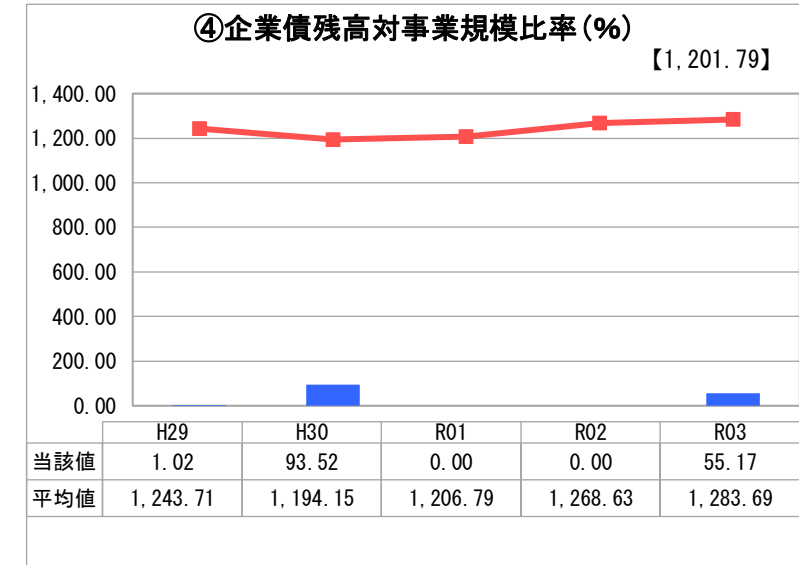
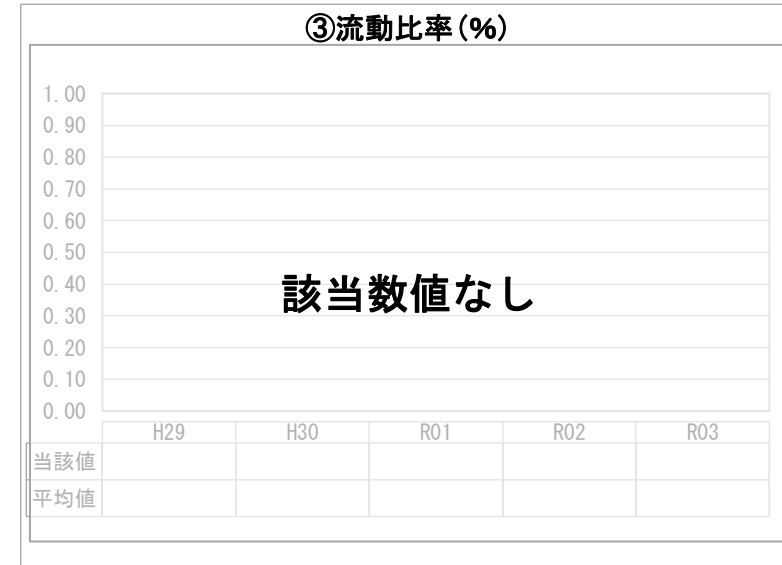
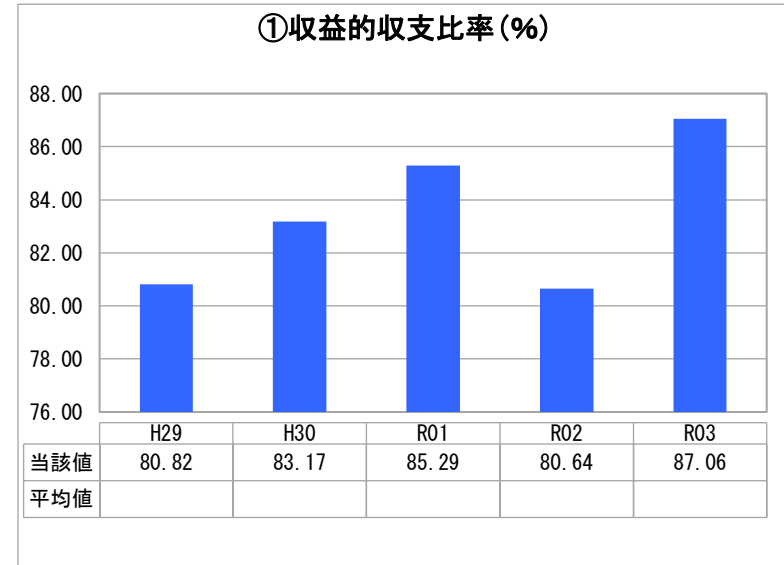
鳥取県 南部町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	30.35	100.00	3,850

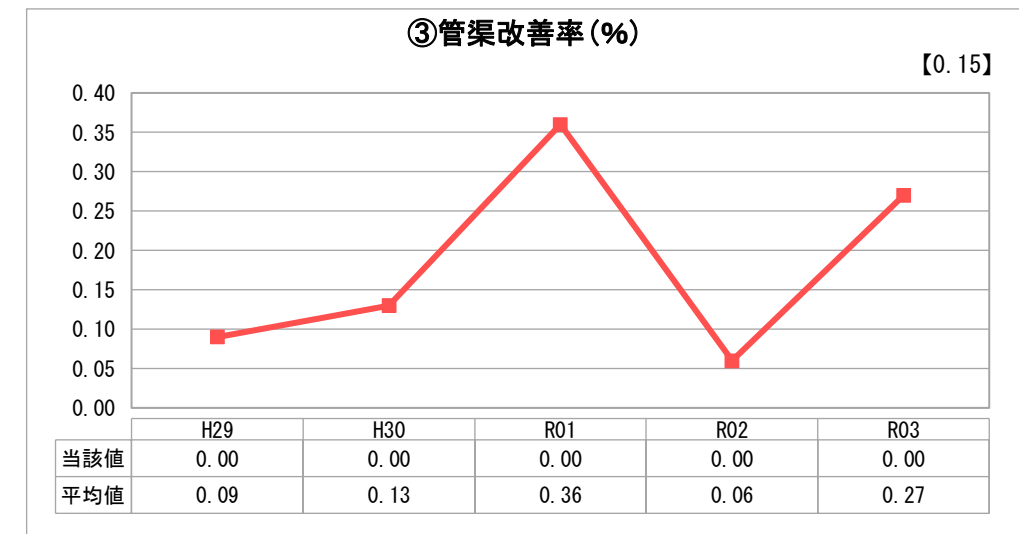
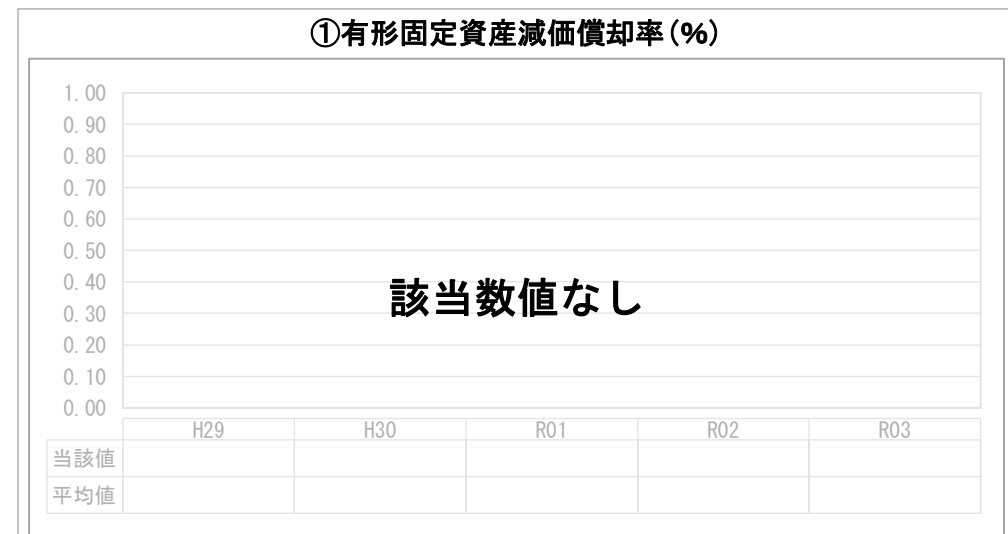
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,503	114.03	92.11
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,156	1.11	2,843.24

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、令和2年度でストックマネジメントの作成業務が完成し、令和3年度では委託費が大幅に減少したことで維持管理費が減少したことにより、前年度と比較し、収支比率が約7%上昇している。

経費回収率は、維持管理費の減少により回復し、約97%となり、類似団体との比較では14%近く高い水準となっている。

収益的収支比率も経費回収率も100%を下回っており、健全な運営となっていない。収支の透明化、改善を図るため、法的化を進めていく。

2. 老朽化の状況について

下水道処理施設の古いものは、平成2年からの供用開始であり、老朽化が進んでいる。今後は更新も含め長期的な修繕計画の検討が必要である。

全体総括

施設整備は完了しており、毎年数件ずつの新規加入があるが、人口減少は年々進んでいる。資本費平準化債の借入れと一般会計からの繰入により経営安定を図っている。

供用開始から30年以上経過する施設の老朽化による改善更新にかかる費用の確保が課題となっている。

今後導入予定としている下水道事業の法的化により、下水道事業の経営状況を正確に把握、分析を行い、適正な使用料設定や地域の状況にあわせた施設の更新等を検討する必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。